

いじめやなやみはすぐ相談

もう、悩まないで!!

希望のダイヤル

88-1255  
教育何でも相談  
月～金曜日  
9時～17時  
(土・日曜日、祝日はお休み)



いじめ電話相談

85-0085  
こまったときは  
すぐ電話してね  
月～金曜日 9時～17時  
(土・日曜日、祝日はお休み)

生きがいダイヤル

88-1818  
子育てアドバイス  
ワンポイント情報  
24時間いつでも  
利用できます。



お父さん、  
お母さん  
ご利用ください

来室相談も行っています

場所 / 市民会館 (生涯教育推進室)

時間 / 月～金曜日 9時～17時 (土・日曜日、祝日はお休み)

- 登別市教育委員会 -

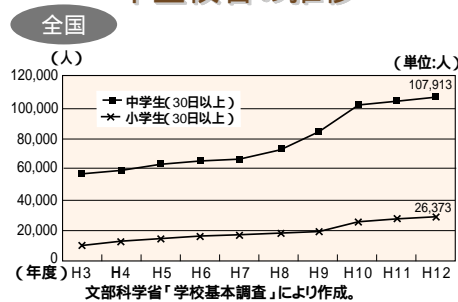


登別市不登校・いじめ等対策会議『教職員研修会』

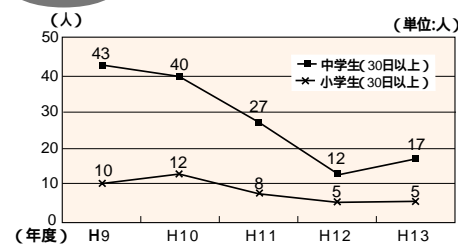
いじめの学習資料『いじめについて学ぼう』(市内小・中学校の児童・生徒に配布)市教育委員会発行



不登校者の推移



登別市



『不登校』について、菊池さんは、「友達がたくさんいるように、心を開ける相手がいない、コミュニケーションがうまく取れないといった子どもがいるんですね。その反面、孤独になることやグループからはずされることなどをとても怖がります。特に不登校の子どもの場合、自分だけが学校に行っていないという重圧を抱えているはず。保護者にはその気持ちも理解して、接してあげてほしいですね」と話してくれました。

「『不登校』については、菊池さんは、「友達がたくさんいるように、心を開ける相手がいない、コミュニケーションがうまく取れないといった子どもがいるんですね。その反面、孤独になることやグループからはずされることなどをとても怖がります。特に不登校の子どもの場合、自分だけが学校に行っていないという重圧を抱えているはず。保護者にはその気持ちも理解して、接してあげてほしいですね」と話してくれました。

週2回学校で子どもとのカウンセリングや、保護者、学校教師との子どもの指導援助方法に係る相談などをしています。菊池さんは、今の子どもたちに『悩む力』をはぐくんであげることが大切と言います。「『『きれる』』という表現がよく使われますが、今の子どもたちの傾向として葛藤を抱えきれずに即行動してしまうところがありますね。そこでは、『悩む』といった過程が省略されてしまっています。悩むことは、子どもたちが成長するうえでとても大切なことなんです。物には恵まれた子どもたちですが、人との関わりが希薄な環境にあつて、悩む力が育ちにくいでしょう。人のトラブルを自ら解決できない子どもたちも多くなっているようです」。

「今の親は、子どもとの間に距離を置き過ぎていませんか。もつと子どもと向き合い、一緒に喜んでんだり、泣いたりするようなかかわりも必要ではないでしょうか。それは、地域においても同じ。よその子に注意する大人が地域に少なくなっています。みなさん、周りに無関心になってはいないでしょうか。特に若いお父さん、お母さんは、地域のつながりの中で、子どもたちを育てるといふ視点も



木村 三郎 さん

地域のつながりの中で、子どもたちの健全な育成を「子どもをしかれない親、子どもを褒めない親など、子どもとの接し方に問題があるのではと感じることがよくありますね」と、子どもに対する親の接し方の問題を指摘するのは、登別市青少年問題協議会委員の木村三郎さんです。木村さんは、登別市青少年問題協議会委員のほか、登別市こども会育成連絡協議会、登別地区保護司会などの要職を務められ、子どもの健全な育成に活躍しています。

「子どもを健全に育てるためには、机上の勉強だけではなく、多くの人びとのかかわりが豊かな人間形成へとはぐくんしていくのに必要不可欠なものだと思います。親としても人の話から得るものがたくさんあるものです。ときには、子育てに関する本を読んだり専門家の講演を聴くなどして、自らの育児を振り返り確認をしながら、子どもとともに成長していくことが必要と感じました。これからも母として、子どもにしっかりと目を向けて、健やかにのびのびと、そして心豊かで思いやり深い大人へと育てていきたいと思っています。」

「子どもを健全に育てるためには、机上の勉強だけではなく、多くの人びとのかかわりが豊かな人間形成へとはぐくんしていくのに必要不可欠なものだと思います。親としても人の話から得るものがたくさんあるものです。ときには、子育てに関する本を読んだり専門家の講演を聴くなどして、自らの育児を振り返り確認をしながら、子どもとともに成長していくことが必要と感じました。これからも母として、子どもにしっかりと目を向けて、健やかにのびのびと、そして心豊かで思いやり深い大人へと育てていきたいと思っています。」

持って、地域の子どもの会や行事などに参加してほしいですね。地域の方との交流の中で学ぶこともたくさんあるはずですよ。子どもと一緒に学び、一緒に成長したい。私は自分の子どもたちを「泣く者とともに泣き、笑う者とともに笑う」ことのできる人に育てたいという育児方針を持って、子どもに接してきました。しかし、そのような子どもにも育てるためには、私自身がそのような人でなければならぬということ。今回のレポートの中でお話を伺いながら感じました。

あなたも市民リポーターになって、市内の話題やまちの動きなどをリポートしてみませんか。平成15年度市民リポーターについての申し込み・問い合わせは情報推進課(広報広聴)(☎856586)まで。